

2017年11月29日
日興アセットマネジメント株式会社



日興グローイング・ベンチャーファンド

地道な調査活動を通じて積み重ねてきた 良好なパフォーマンス

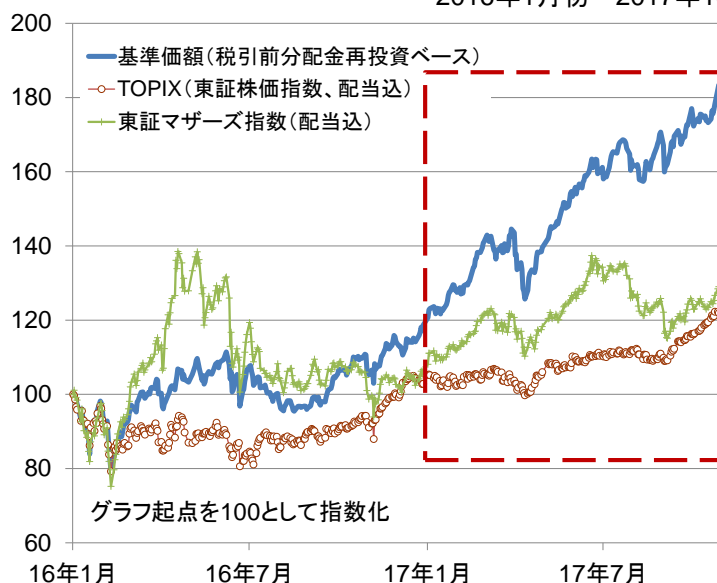
本レポートでは、当ファンドの良好なパフォーマンスと、当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社である、エンジェルジャパン・アセットマネジメントの運用方針などを改めてご紹介させていただきます。

好調な当ファンドのパフォーマンス

- 2017年の新興株式市場は、海外要因の影響を受けにくい内需企業が多いことなどから、円高・米ドル安基調が続くなかでも、好業績企業をけん引役として上昇基調となりました。8月には北朝鮮情勢の緊迫化などが重石となったものの、9月半ば以降、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、再び上昇しました。
- 当ファンドの基準価額は、経営陣との個別直接面談に基づく銘柄選別などが奏功し、サービス業を中心に幅広い業種で保有銘柄が上昇したことから、主要株価指数を大きく上回るパフォーマンスとなりました。

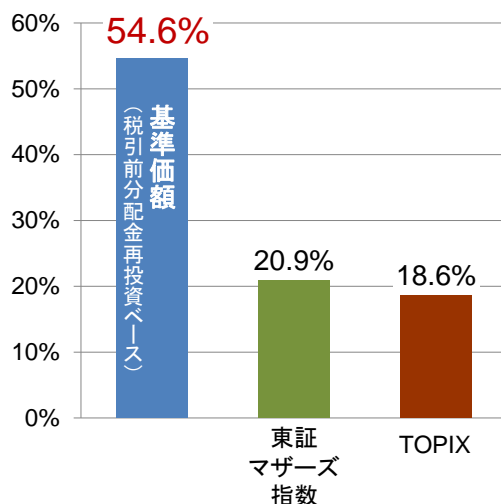
＜当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資ベース)および主要指数の推移＞

2016年1月初～2017年10月末



＜2017年の騰落率比較＞

2016年12月末～2017年10月末



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

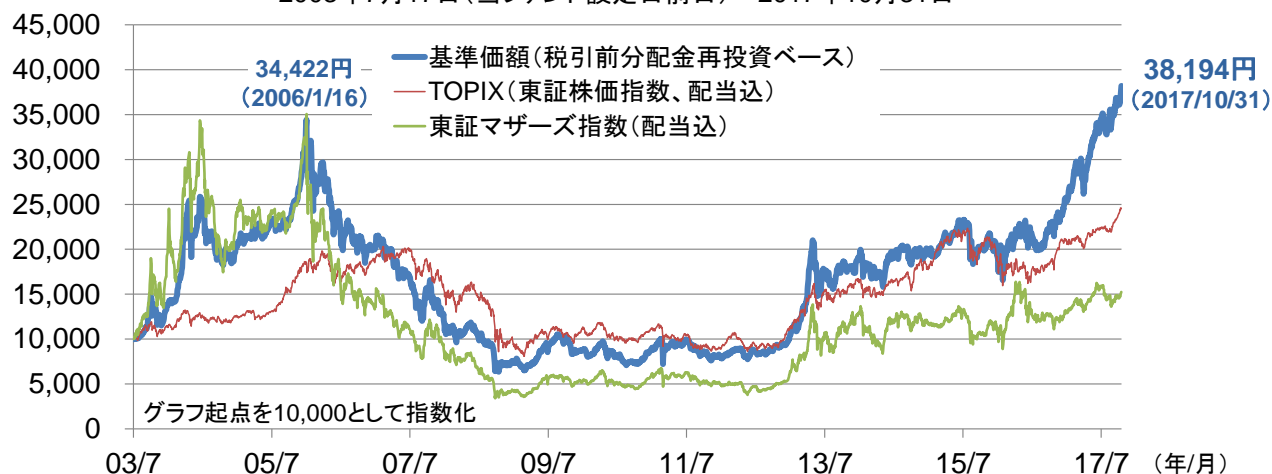
■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

設定来の
基準価額

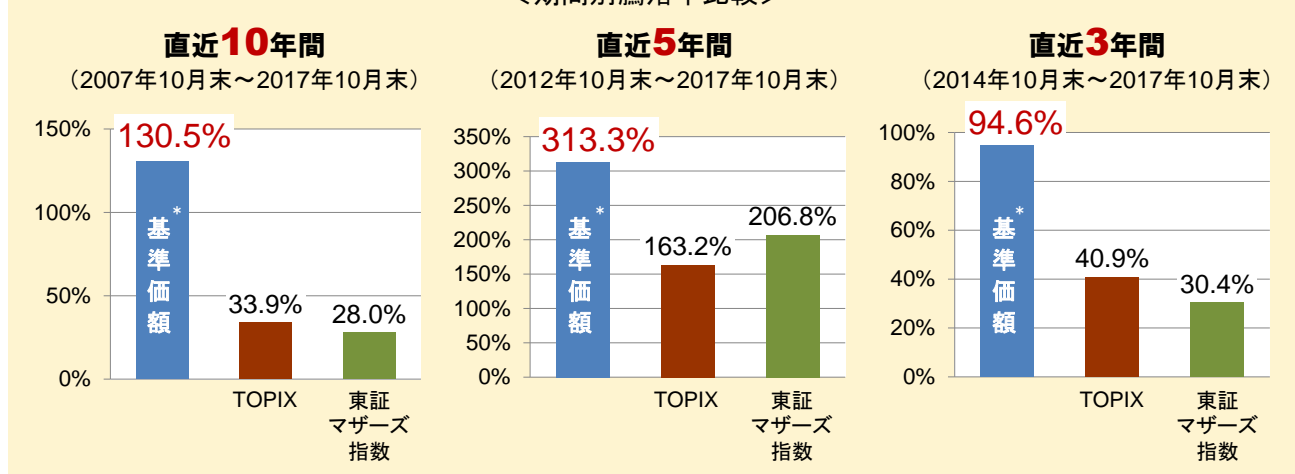
主要株価指数を大きく上回る
堅調なパフォーマンス

- 当ファンドの基準価額は、2006年に新興株や中小型株式が売られた「ライブドア・ショック」を受け、大きく下落したものの、2013年以降、市場環境が改善するなか、徹底した企業調査に基づく銘柄選別などが奏功し、大幅に上昇しました。足元では、ライブドア・ショック以前の高値を上回る水準となっています。
- 期間別に騰落率を比較すると、この10年間で主要株価指数を大きく上回るパフォーマンスとなりました。

＜当ファンドの設定来の基準価額(税引前分配金再投資ベース)および主要指数の推移＞
2003年7月17日(当ファンド設定日前日)～2017年10月31日



＜期間別騰落率比較＞



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

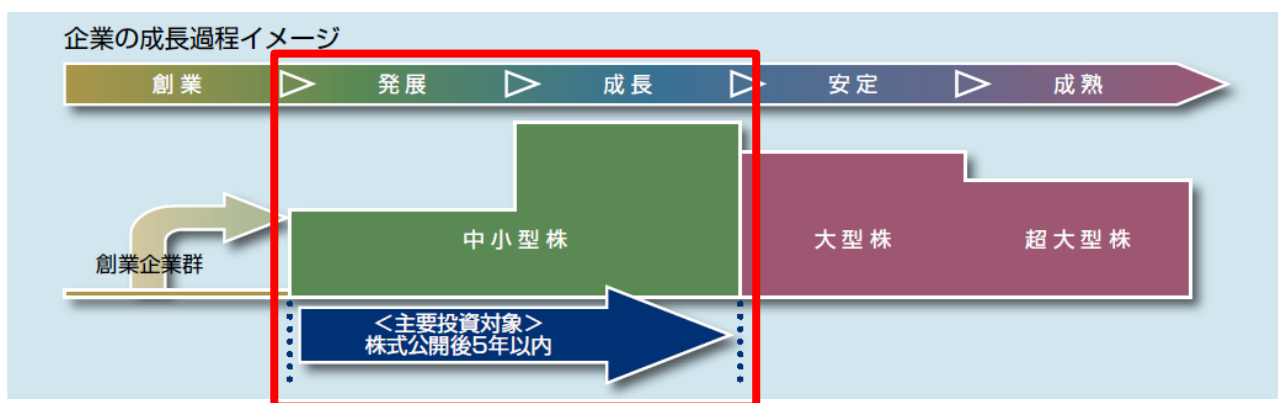
「日興グローイング・ベンチャーファンド」は
株式公開後5年以内の「高成長新興企業」
 に投資を行なうファンドです。

ファンドの特徴

1

主に企業の「発展」「成長」が最も期待できる株式公開後5年以内の「高成長新興企業」に投資を行ないます。

＜主要投資対象について＞



※上図は企業の成長過程および当ファンドの投資対象をイメージしたものであり、株価水準や企業の魅力度等を示唆したものではありません。

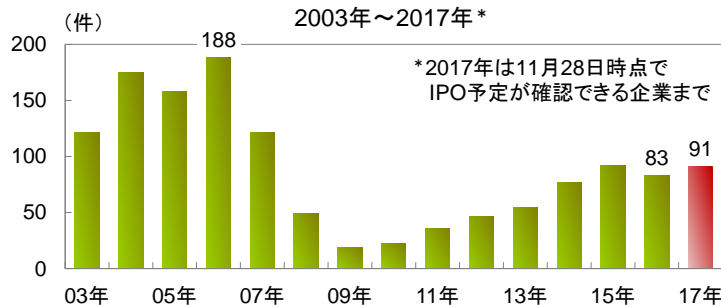
ファンドの特徴

2

徹底的に掘り下げた企業調査により「高成長新興企業」を
 厳選、抽出します。

当ファンドでは、成長株に特化した独立系の投資顧問会社である「エンジェルジャパン・アセットマネジメント」（以下、エンジェルジャパン）が徹底したボトム・アップリサーチを行ない、有望企業を厳選しています。企業調査にあたっては、経営陣との個別直接面談を重視しています。IPO（株式の新規公開）を行なった企業については、**ほとんど全ての企業と面談**し、革新的な企業とはその後も定期的に面談します。

＜IPO件数の推移＞
2003年～2017年*



エンジェルジャパン・アセットマネジメント

面談が可能な
 ほとんど全てのIPO企業と
 個別直接面談を実施

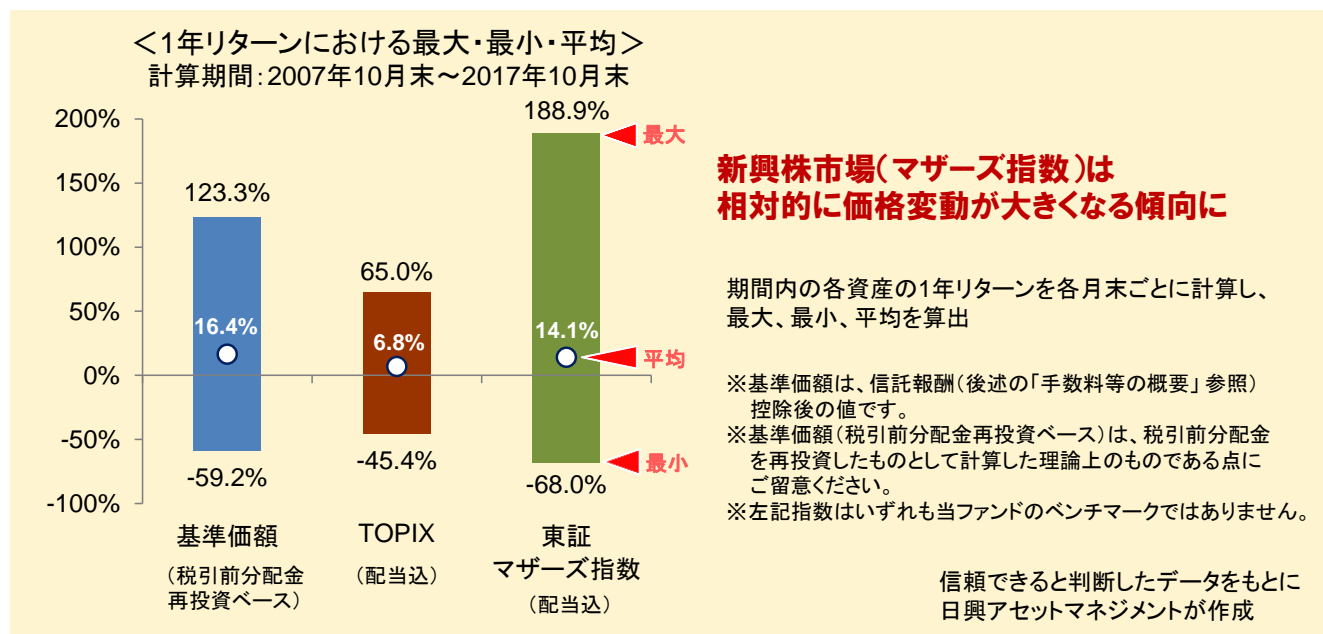
エンジェルジャパン・アセットマネジメントの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものおよび予定であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

新興成長株の上昇期待と下振れリスク

- 新興成長企業は、新しい技術やビジネスモデルなどを背景に、大きく成長する可能性を秘めており、**株価の上昇期待が相対的に高い**と考えられます。
- 一方で、大型株と比べて値動きが激しくなる傾向があり、**下振れリスクも相応に大きい**と考えられます。



新興成長株だからこそ徹底した企業調査が重要

- 値動きが大きい背景には、流動性が限定的であることに加えて、①情報が行き届きにくい、②事業環境の変化が激しい、といった新興成長株ならではの**特徴**があると考えられます。
- こうした特徴を踏まえると、新興成長株投資においては、当ファンドが実施する**経営陣との個別直接面談に基づいた徹底的な企業調査が力を発揮する**と考えられます。

新興成長株の主な特徴

①情報が行き届きにくい

新興成長株は、調査するアナリスト数が少ない傾向にあります。

⇒ **徹底的な調査活動の継続が重要に**

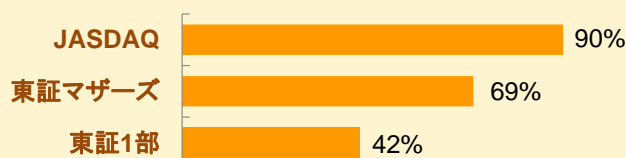
②事業環境の変化が激しい

成長が見込まれる企業ほど、事業環境の変化が激しく、株価の変動も大きくなる傾向があります。

⇒ **先行きを見極めるため、経営陣に対する定期的な個別直接面談の実施が重要に**

＜担当アナリストがいない企業の割合＞

2017年10月末現在



エンジェルジャパン・アセットマネジメントの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

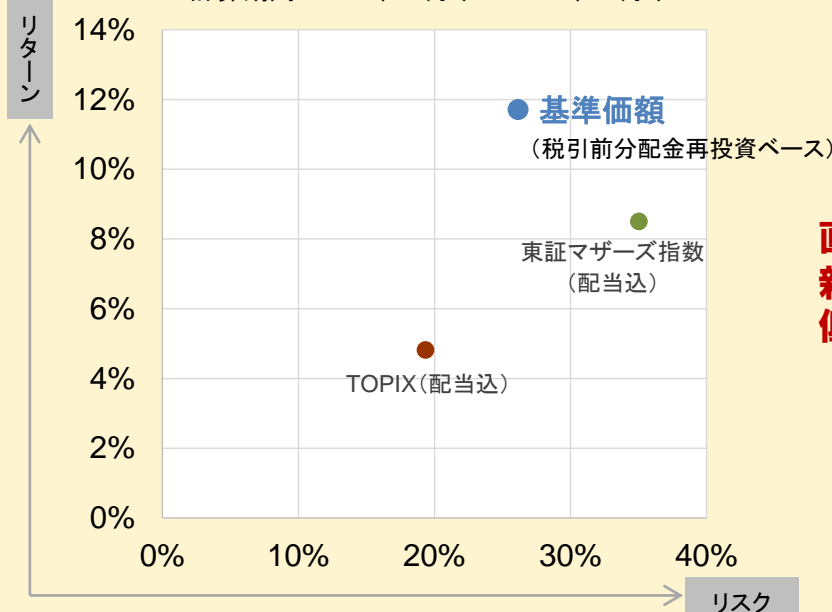
エンジェルジャパンの徹底した企業調査により

リスク抑制とリターン向上を実現

- エンジェルジャパンは、情報が限られる新興成長企業に対して、個別直接面談調査を積極的に実施することで、有望な企業を見極めることをめざしてきました。
- こうした調査活動や企業分析に基づく銘柄選別などが功を奏し、**当ファンドはリスクを相対的に抑制しながらも、新興株式市場よりも高いリターンを獲得してきました。**

＜基準価額および主要指数のリスク・リターン＞

計算期間：2007年10月末～2017年10月末

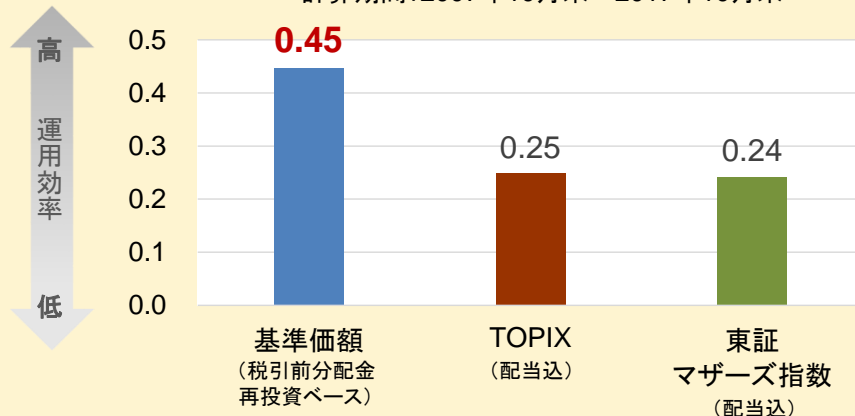


**直近10年間では
新興株式市場よりも
低リスク・高リターンに**

リスクは各資産の月次リターンの標準偏差、リターンは月次リターンの平均を、それぞれ年率換算しています。

＜リターン／リスク(運用効率)＞

計算期間：2007年10月末～2017年10月末



**地道な分析に基づく
銘柄選別などにより、
市場を上回る運用
効率を実現**

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

銘柄
紹介

投資銘柄と着眼点のご紹介

～エンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメント～

SHIFT



ソフトウェアのテスト・品質保証を手掛ける

【事業内容と特徴】

ソフトウェアのテスト(検証)サービスを提供しており、顧客数650社以上、テストケース2,000万件以上、不具合検出数45万件以上の実績を持つ。ソフトウェアが日々高度化・複雑化する中で急速に存在感を増しており、強みを活かして積極的に事業領域の拡大を図っている。

【強み・着眼点】

独自の検定を通じて育成した人材と、テスト業務の標準化と効率化を推進している点が強み。その結果、不具合検出のコストをより低く抑えることができるため、テストの外注ニーズの発掘に成功している。

ウィルグループ



人材サービス業界の新興成長企業

【事業内容と特徴】

人材派遣・業務請負サービスを手掛けており、既存事業と新規事業を成長の両輪として業容拡大を目指している。

【強み・着眼点】

「フィールドサポーター」と呼ばれる正社員が派遣スタッフと同じ現場に常駐して一緒に働き、現場管理・情報収集を行なう**“ハイブリッド派遣”**という独自の体制が強み。急な人材配置などの要請をフィールドサポーターに集約することで、現場の管理負荷が低減されるメリットがある。また派遣スタッフから見ても、現場の一体感・士気が高まって働きやすい職場となる効果が期待される。

ネオジャパン

高い技術力を活かし、ビジネス
コミュニケーションツールを開発

社内の文書管理から会議室予約、メール・電子会議など、業務上必要な機能が盛り込まれたツールを提供。強みである高度な技術力を活かしたツールが評価され、ユーザー数は360万超、日経コンピュータ誌の顧客満足度調査(グループウェア部門)では3年連続1位を獲得。

ヤマシンフィルタ

建機用油圧フィルタで
国内トップクラスのシェア

建設機械の油圧回路に用いる、油をろ過して不純物を取り除くフィルタの製造・販売を手掛ける。中長期成長に向け、IoT(モノのインターネット化)やビッグデータを活用し、遠隔地で油の状態を計測して故障検知できるフィルタなど、先端技術を取り入れた開発に取り組んでいる。

ラクス

中堅中小企業向けに
業務効率化ソフトを提供

複数の社員がメールを共有・管理できるソフトウェア「メールディーラー」をインターネット経由で提供しており、EC(電子商取引)サイトの運営会社などで幅広く利用されている。さらに、新たに開発した、企業の経費精算を効率化する「楽楽精算」が、新たな事業の柱となりつつある。

※写真はイメージです。

上記は、情報提供を目的として、2017年10月末時点の日興グローイング・ベンチャーファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、エンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者の視点

新興成長株投資だからこそ
地道な調査活動が効果を発揮

～エンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメント～

エンジェルジャパン・アセットマネジメント*
運用チーム

経営陣との「個別直接面談」を重視



右から 宇佐美代表取締役、
内藤チーフインベストメントマネジャー、
金沢シニアインベストメントマネジャー、
柳葉シニアインベストメントマネジャー

*当ファンドの投資助言を行なう投資顧問会社です。

- 新興成長株投資の世界は非常に魅力的な領域ですが、情報が限られている上に事業環境の変化や業績の変動も大きいため、非常に難しい領域でもあります。しかし、エンジェルジャパン・アセットマネジメントでは、地道な調査活動を徹底すれば大きな成果を得ることができると考えています。
- 私たちが最も重点を置いているのは経営陣に対する定期的な個別直接面談です。まずIPO(株式の新規公開)時にほとんど全ての企業に面談調査を行ない、革新的な成長企業であると判断した場合は、以後、定期的に面談を実施しています。こうして**毎日4～5社、年間延べ1,000社**の経営陣と面談しており、こうした活動の蓄積が大きな財産となり、強みとなっています。
- 面談では、業績データやプレスリリースなどをもとに事前に作成した企業分析シートを使って、経営陣に対して様々な角度から質問しています。具体的には、足元の事業状況からビジネスモデルや技術の優位性、中長期的な戦略、目標達成に向けた取り組み、計画の進捗状況、課題への対策など多岐にわたり、これらを丹念に確認しながら企業の3～5年先の姿を見極めていきます。

チーム全員での議論に基づいた投資助言を実施

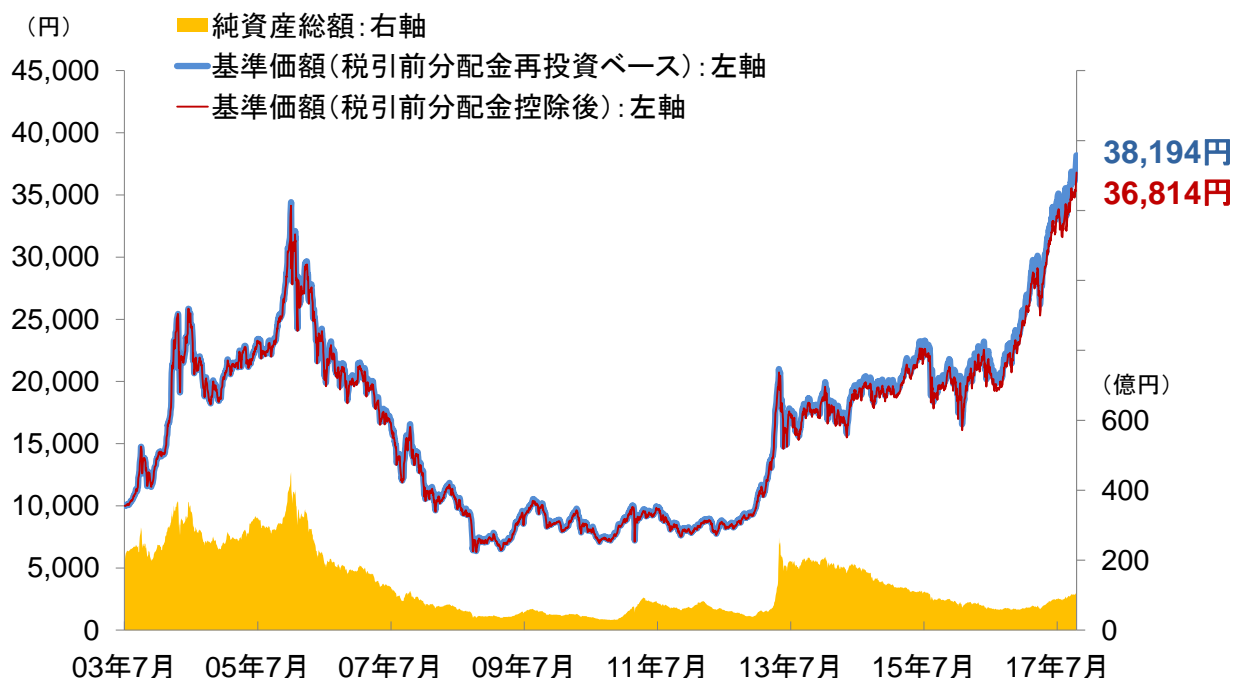
- 個別面談調査にはチーム全員が参加し、投資助言判断も完全な合議制で行なっている点も特徴です。とりわけ、評価が定まらない新興成長企業であるからこそ、**年齢も経験も異なるメンバーが様々な観点から分析し、意思決定も合議制で行なうことが重要**だと考えています。
- 毎夕の社内ミーティングでは、その日の面談結果についてチームで議論することで、投資すべきか否かを総合的に判断し、日々の投資助言に反映させています。こうした合議制は、一人の「カリスマ」の力に頼るのではなく、チームで運営することによって、長期にわたって高品質のポートフォリオをお届けするという狙いもあります。

※上記は、「日興グローイング・ベンチャーファンド」のマザーファンドの投資顧問会社であるエンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

運用実績とポートフォリオの内容

＜設定来の基準価額と純資産総額の推移＞

2003年7月18日(設定日)～2017年10月31日



※基準価額は、信託報酬控除後の1万口当たりの値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜株式組入上位10銘柄＞

2017年10月末現在

(銘柄数: 53銘柄)

| | 銘柄名 | 業種 | 比率 |
|----|----------------|--------|-------|
| 1 | SHIFT | 情報・通信業 | 3.58% |
| 2 | ウィルグループ | サービス業 | 3.33% |
| 3 | ネオジャパン | 情報・通信業 | 3.18% |
| 4 | ヤマシンフィルタ | 機械 | 3.18% |
| 5 | ラクス | 情報・通信業 | 3.03% |
| 6 | ビジョン | 情報・通信業 | 2.99% |
| 7 | M&Aキャピタルパートナーズ | サービス業 | 2.95% |
| 8 | インソース | サービス業 | 2.85% |
| 9 | Hamee | 小売業 | 2.79% |
| 10 | イントラスト | その他金融業 | 2.79% |

※「株式組入上位10銘柄」はマザーファンドの状況であり、比率は対純資産総額です。
 ※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 ※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1 高成長新興企業の株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。

○主として、公開後5年以内のわが国の金融商品取引所上場株式の中から、革新的な高成長新興企業(=グローイング・ベンチャー)に投資を行ないます。

2 エンジェルジャパン・アセットマネジメントによる徹底したボトムアップ・リサーチにより有望企業を厳選します。

3 エンジェルジャパン・アセットマネジメントから投資助言を受けます。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【未上場株式などの組入リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お 申 込 め ち

| | |
|------------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 |
| ご購入単位 | 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。 |
| ご購入価額 | 購入申込受付日の基準価額 |
| 信託期間 | 2023年7月18日まで(2003年7月18日設定) |
| 決算日 | 毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日) |
| ご換金代金のお支払い | 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。 |

手 数 料 等 の 概 要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

| | |
|---------|---|
| 購入時手数料 | 購入時手数料率は、 <u>3.24%(税抜3%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 |
| 換金手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | 換金時の基準価額に <u>0.5%</u> の率を乗じて得た額 |

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

| | |
|-------|---|
| 信託報酬 | 純資産総額に対して年率 <u>2.052%(税抜1.9%)</u> を乗じて得た額 |
| その他費用 | 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など ※その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 |

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

| | |
|--------|---|
| 委託会社 | 日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会 |
| 投資顧問会社 | エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社 |
| 受託会社 | 野村信託銀行株式会社 |
| 販売会社 | 販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。) |

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------|----------|------------------|-----------------|-----------------|--------------------|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| エース証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第6号 | ○ | | |
| SMBC日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第2251号 | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ |
| 高木証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第20号 | ○ | | |
| 内藤証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第24号 | ○ | | |
| 日産証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第131号 | ○ | ○ | |
| 碧海信用金庫 | 登録金融機関 | 東海財務局長(登金)第66号 | ○ | | |
| 水戸証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第181号 | ○ | ○ | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ |

(50音順、当資料作成日現在)